石巻専修大学
●「石巻専修大学」ホームページ● http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号
0225
(22)7711

広報専用FAX
0225
(22)7809

就活本番

―３年次生が先輩に学ぶ

▲　先輩の助言をメモに取る３年次生

12月1日に就職活動が解禁され、3年次生（2015年3月卒業予定学生）の就職活動がいよいよ本番を迎えた。これに先立ち、11月に多くの進路支援行事を実施し、学生たちにアドバイスを送るとともに、モチベーションアップを図った。

11月21日には「先輩たち（4年次内定者）の就職活動体験談」が本学キャンパスで開催された。3年次生80人が参加し、厳しい就職活動を切り抜け、内定を勝ち取った4年次生31人から、就職活動に向けた準備や心構え、内定獲得のコツなどを熱心に聞いた。

参加者からは「実際に厳しい就職活動を体験した先輩方の生の声を聞けたことは、今後の自分にとって役立ちます。先輩方の体験談を踏まえて、積極的に活動を行い、自分にベストな職業選択をしていきたい」などの感想が寄せられた。

合宿研修会

専修大学就職課が実施した「就職合宿研修会」（11月30日～12月1日＝東京都新宿区・日本青年館）に、本学5人の学生が参加。専大生とともに、自己理解を深め、自己PRの訓練を行った。

また、企業の人事や採用担当者による模擬面接も計4回行われ、学生たちは貴重な経験を積んだ。

＝◇＝

今後は「キャリアガイダンス（本学主催の合同企業説明会）」（2月7日＝石巻市・石巻グランドホテル、2月13日＝仙台市・仙台アエル）が開催されるほか、「合宿型就職面接セミナー」（2月22～23日＝松島町・ホテル松島大観荘）などの進路支援行事も予定。

カーシェア車両46台　整備・点検に協力

理工学部機械工学科自動車工学コースの4年次生22人がカーシェアリング車両46台の整備点検に協力した。学生たちは11月28、29日の2日間にわたり、本学の自動車工学センターで各車両のタイヤ、オイル交換を行い、日ごろの学びを被災地支援に生かした。

石巻市内の仮設住宅と住宅避難地域に共同利用車両を提供している一般社団法人日本カーシェアリング協会の「学生整備プロジェクト」に協力し、実現した。これまでも整備会場の提供など、同活動に協力してきたが、今回は学生たちが直接整備に携わった。

学生たちは整備点検講習を受講した後、作業をスタート。山本憲一自動車工学センター長（理工学部教授）や同協会のスタッフらも参加して、本格的な冬を目前に控え、冬・夏タイヤの交換や各部のチェックを実施。真剣な表情で1台1台、丁寧に整備・点検を行った＝写真。

生活習慣改善で元気はつらつ！　セミナー終了

本学共創研究センターの平成25年度プロジェクト事業（社会還元事業）の一つ、ISU健康支援プログラムによる「元気はつらつ！　健康習慣セミナー」（10～12月、全5回）が終了した。石巻市稲井地区の60～70歳代の方を対象としたこのセミナーに、多くの方が参加し、生活習慣の改善を図った。

▲　山内准教授（右から３人目）、永山貴洋助教（右端）と、学生スタッフ

日常生活の活動量を増やし、自分で健康管理する力をつけてもらうことを目的に、2010年から継続的に実施されている。10月1日の今年度1回目のセミナーでは、山内武巳人間学部准教授による「日常の活動量を増やすことの意義」と題した健康講話と、山内研究室の学生が協力し、体力測定が行われた。

以降も学内外から講師を招き、「自分の生活活動パターンを知ろう」「自分の生活、食事、体力を知ろう」といった講話が行われ、健康へのアドバイスが送られた。

子道女弓　Ⅱ部リーグ昇格

東北地区秋季大会で優勝

第43回東北地区秋季女子学生弓道大会（Ⅲ部＝11月2日、本学弓道場）で、本学弓道部が3戦全勝で優勝。4校によるⅡ部Ⅲ部入替戦（11月17日、秋田大学弓道場）でも1位となり、Ⅱ部リーグ昇格を果たした。

リーグ戦は4校による総当たり戦で、3人が4射を3回行い、計36射の的中数で勝敗を決める。本学は全試合で的中率5割を超え、2位以下を大きく引き離した。個人でも氏家萌さん（理工2・山形県寒河江高）が優勝、高村千紘さん（理工3・宮城県黒川高）が3位と好成績を記録した。

入替戦は計36射（3人×4射×3回）の1試合勝負。大一番で今季最高となる29／36をマークし、2位と13差をつける圧倒的な的中数で勝利した。

代表の高村さんは「練習以上の成果を出すことができ、念願だったⅡ部昇格を決めることができました」と喜びのコメントを残した。

親子で3D模型づくり楽しむ

本学の復興共生プロジェクトが主催した「3Dプリンターでつくる門脇小学校の模型」が11月10日、本学キャンパスで開催された＝写真。

石巻地域の小学生とその保護者ら10組（20人）が参加し、髙橋智理工学部准教授の指導を受けながら、立体模型の制作を体験した。

同プロジェクトでは、3Dプリンターを活用し、東日本大震災で被災した石巻市門脇町や南浜町周辺の復元立体模型の制作に取り組んできた。

それらの成果を子供たちに知ってもらおうと、石巻信用金庫と協力し、今回の〝体験教室〟が実施された。

参加者は3Dプリンターの説明と、これまでに制作された復元立体模型の紹介を受けた後、専用ボンドでの含浸、樹木の張り付けといった、模型制作を体験。子供たちは最先端の科学技術に触れながら、模型づくりを楽しんだ。また、完成した模型は記念品としてプレゼントされた。

石田記念研究奨励賞を受賞

理工学部・髙橋智准教授

理工学部機械工学科の髙橋智准教授が、財団法人石田實記念財団が表彰する「平成25年度研究奨励賞」を受賞した＝写真。11月8日に行われた研究奨励賞贈呈式で賞状と副賞が授与された。

同賞は宮城県内で環境、システムおよび工学一般分野の情報通信について研究し、その成果が情報通信産業の進歩発展に貢献、期待できる研究者に贈られる。受賞の対象となったのは「熱環境下における電磁波吸収体の材料設計問題に関する研究」。この研究成果が高く評価された。

プロ野球でも活躍を　楽天入団の相沢さん

硬式野球部OBの相沢晋（すすむ）さん（平22経営＝投手）がプロ野球ドラフト会議（10月24日）で東北楽天イーグルスから8位指名を受けた。11月13日には契約交渉で合意に達し、晴れてプロ入りを果たした（本学出身のプロ野球選手は2人目）。

本学ではエースとして活躍し、4年次にはリーグ戦の優勝に貢献し、MVPを受賞。チームを全日本大学野球選手権大会へと導いた。卒業後は日本製紙㈱石巻工場に就職。同社の硬式野球部でも活躍した。4年目の今季は投手コーチも兼任し都市対抗野球大会のベスト8進出に貢献した。

最速146㌔のストレートと、シュートやカットボールなどの多彩な変化球を武器に、プロの舞台に挑む相沢さんを応援しよう。

共同・協働でまちづくり　懇話会開催

石巻中心市街地におけるまちづくりの今後を考える「まちづくり懇話会」（経営学部地域活性化研究会主催）が12月4日、本学キャンパスで開催された。

市民、学生ら40人が聴講に訪れ、講演とディスカッションを通し、住民と外部支援者が協力してのまちづくりについて理解を深めた。

同研究会の伊藤宣生代表（経営学部教授）が開催の趣旨を説明。講演は阪神・淡路大震災後、神戸市長田区御蔵地区で復興まちづくりに関わってきた特定非営利活動法人「まち・コミュニケーション」代表理事の宮定章氏が「住民と外部支援者の協働のまちづくり―継続的にまちづくりに関わる上での葛藤―」をテーマに、神戸市での経験を伝えた。

引き続き行われたディスカッションでは、活発な意見交換がなされ、今後のまちづくりへのかかわり方を探った。